

財務指標の例⑰

設備投資効率

2018年度の設備投資効率（全産業・全規模）は68.5%

※業種別・資本金別

業種	資本金			
	1,000万円未満	1,000万円~1億円	1億円~10億円	10億円以上
製造業	124.2%	83.2%	84.2%	75.4%
非製造業	79.4%	68.6%	95.2%	47.4%

(1) 財務指標の説明

設備投資効率は、企業が保有する生産設備がどのくらいの付加価値を生産しているかを評価するための指数です。

一般的に、設備投資効率が高いほど生産設備が効率的に活用され、生産性が高いと言えます。

$$\text{設備投資効率 (\%)} = \frac{\text{付加価値額}^{***}}{\text{有形固定資産(建設仮勘定を除く)}^{**} [\text{期首・期末平均}]}$$

貸借対照表

資産の部		負債の部	
I	流動資産	I	流動負債
II	固定資産	II	固定負債
	土地		
	その他有形固定資産		
III	繰延資産	純資産の部	
		I	株主資本
		II	評価・換算差額等
		III	新株予約権
資産合計		総資本(負債・純資産合計)	

損益計算書

I	売上高
II	売上原価
	売上総利益
III	販管費
	営業利益
IV	営業外損益
	経常利益
V	特別損益
	税引前当期純利益
VI	法人税等
	当期純利益

* 2006年度調査以前：
 人件費＝役員給与＋従業員給与（従業員賞与を含む）＋福利厚生費
 2007年度調査以降：
 人件費＝役員給与＋役員賞与＋従業員給与＋従業員賞与＋福利厚生費

** 有形固定資産（建設仮勘定を除く）＝土地＋その他の有形固定資産

*** 付加価値額＝人件費*＋支払利息等＋動産・不動産賃借料＋租税公課＋営業純益****

**** 営業純益＝営業利益－支払利息等

(2) グラフで見る最近の動き

2018年度の製造業、非製造業を見ると、製造業は付加価値額の減少及び有形固定資産（建設仮勘定を除く）の増加により、非製造業は付加価値額の増加率よりも有形固定資産（建設仮勘定を除く）の増加率が上回ったため、それぞれ設備投資効率が減少しており、全産業でも減少となっています。

